

## 【事例 10】

実施企業名 : 株式会社マルハン

実施名称 : 株式会社マルハン創業 50 周年献血活動

対 象 : 全従業員及びお客様

実施日時 (期間) : 平成19年6月1日～平成20年3月31日

実施目的 : 社会に対する感謝の気持ちを伝えるために、全従業員参加の献血活動を行う。

実施内容 : 全国の店舗の全従業員が、献血バス、献血ルーム等で献血の協力をする。

献血サポーターとして参加し、ロゴマークを使用したポスター (下図) の作製を行い、全店舗への掲示とともに、自社 WEB ページやCMで献血活動を紹介。

実施結果 : 全国 227 店舗の従業員及びその家族の方々約 2,000 名の協力をいただいた。



私達にしかできない  
最高の贈り物

**マルハンは全従業員で献血に協力します。**

現在、全国的に献血量が減少しています。  
人間の生命に欠くことのできない血液は人工的に作り出すことができません。  
さらに、血液は長い期間にわたって保存することもできないのです。  
輸血に必要な献血をいつでも十分に確保するためには、絶えず誰かの献血が必要になります。  
マルハンは今年の50周年を迎えるにあたりまして、社会に対する「感謝」の気持ちを伝えるために、私たちにできることを考えました。  
それが全従業員10,000人参加の「献血活動」です。

**マルハン** <http://www.maruhan.co.jp/>

50th ANNIVERSARY **マルハン**

新しいイノベーション

その他広報活動  
複数回献血クラブ会員募集のための事例

【事例 11】

実施センター名 : 日本赤十字社 血液事業本部

実施名称 : 携帯電話やパソコンによる献血履歴及び検査成績の照会

対象 : 複数回献血クラブ会員

実施日時(期間) : 平成20年4月15日(火)から

実施目的 : 献血にご協力いただいた複数回献血クラブ(以下「クラブ」という。)会員へ、現在、献血手帳及び献血カードで確認できる献血の履歴や、ハガキによりお知らせしている検査成績(生化学検査、血球計数検査)について、携帯電話やパソコンで照会できる機能をクラブシステムに追加することにより、利便性の向上を図り、更なる同会員の増加並びに複数回献血への協力を推し進める。

実施内容 : クラブ会員は、携帯電話及びパソコンのクラブシステム会員専用ホームページからログインし、「献血記録」を選択すると、「献血履歴」と「検査成績」を表示する。表示項目は次のとおり。

(1) 献血履歴

血液型、献血回数、献血日、  
採血センター名、献血種類

〔携帯電話画面〕



(2) 検査成績

- ア. 献血時の情報(血圧、脈拍)
- イ. 生化学検査(7項目)
- ウ. 血球計数検査(8項目)

検査成績は、過去5回分を比較できるようにグラフで表示。また、献血後にその献血履歴及び検査成績がホームページに表示されたことのお知らせメールをクラブ会員へ送付する。

